

## 奈良県における取組

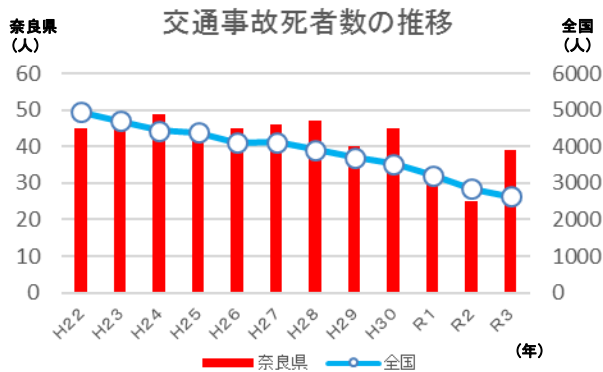
### 交通安全対策

奈良県における交通事故死者数は、令和2年中には戦後統計が残る昭和22年以降最少となったものの、高齢者人口の増加による高齢運転者の交通事故が増加し、令和3年中の全交通事故死者数に占める高齢者の割合は59%と高く、今後さらに死者数を減少させるには、交通環境の改善は不可欠である。

しかしながら、現状は、十分な交通安全施設が整備されているとは言い難く、LED式信号灯器や歩車分離式信号機への改修、既設信号機の増灯や横断歩道の新設・改修等の交通安全対策の充実がさらに必要な状況にある。

また、既存の交通安全施設についても、同様の理由から老朽化対策が不十分で、灯器異常や倒壊の危険性が高まっており、計画的な施設の更新が必要である。

このように、交通死亡事故抑止対策とインフラ老朽化対策を、今後ともより一層並行して推進していく必要がある。



LED式信号灯器の整備状況(R3年3月末)

	全国	奈良	滋賀	京都	大阪	兵庫	和歌山
車両用灯器総数	1,271,934	14,684	15,579	23,697	83,338	45,815	12,101
うちLED	840,128	8,180	10,907	14,540	60,929	20,809	10,124
割合	66.1%	55.7%	70.0%	61.4%	73.1%	45.4%	83.7%

信号制御機更新状況(R3年3月末)

	全国	奈良	滋賀	京都	大阪	兵庫	和歌山
信号制御機総数	206,154	1,996	2,306	3,317	11,880	7,238	1,814
うち更新数	8,944	90	115	114	537	382	91
割合	4.3%	4.5%	5.0%	3.4%	4.5%	5.3%	5.0%

## 国にお願いすること

### 交通安全対策

第11次交通安全基本計画の目標達成に向け、安全で快適な交通環境を整備するためには、交通危険箇所の改善に加え、老朽化した交通安全施設の戦略的な維持管理・更新が必要であることから、補助対象事業の拡大を要望する。